

プロテオーム解析基盤の構築：創薬研究開発の県内振興を目指して

【目的】プロテオーム解析技術を薬総研内に構築し、技術支援を行うことにより、富山県内製薬企業や大学における創薬研究開発並びに研究者／技術者の人材育成に活用すること。



【取り組んでいること】

- ① 県内企業や大学の技術支援
- ② 適応サンプル及び解析手法の拡大に向けた検討
 - ・ 動物組織等からのタンパク質抽出方法の検討
 - ・ リン酸化プロテオーム解析法の検討
 - ・ 難溶性サンプルに適用可能なサンプル調製法の検討
 - ・ バイオ医薬品に含まれる不純物（宿主細胞由来タンパク質；HCP）の解析
 - ・ DIA解析による高深度プロテオーム解析の検討
- ③ プロテオーム解析技術の富山県内への周知
 - ・ 富山県薬事研究会 生物部会での研究活動（R6-7年度）

【R7年度生物部会テーマ】プロテオーム解析手法によるタンパク質の網羅的相対定量の実践：創傷治癒モデルマウスを用いた治癒過程のタンパク質発現変化の解析
- ④ プロテオーム解析技術を活用した所外組織との共同研究

- ・ Orbitrap Fusion Lumos (thermo fisher scientific)
- ・ UltiMate3000 RSLCnano (thermo fisher scientific)
- ・ オートサンプラーPAL LSI (エーエムアール株式会社)

プロテオーム解析に特化した仕様の
質量分析装置

R5年度から機器利用スタート

最先端の装置を使ったプロテオーム解析の有用性を広く周知し、外部組織と連携して相互に解析技術を向上させることにより、県内における創薬研究開発等に活用することを目指していく。